

コンセプト(案) 「世界に誇れる人に優しい医療先進都市」

1. 世界最先端の医療都市の実現

がんをはじめとする成人病に関する「世界最先端の医療都市」として大手前地区を位置づけ、地域の医療機関とも連携しながら、常に最先端の治療法が研究・臨床され、生活の質(QOL)を重視した患者に優しい治療法が受けられるエリアとして整備する。

また、「医療」と「既存のサービス産業」を組み合わせた新たなサービス展開をこのエリアで実証し、大阪発の地域主導型産業発展モデルの実現を目指す。

- 例)
- ①「観光」と「ヘルスケアサービス」をパッケージにしたメディカル・ツーリズム
 - ②漫才・落語の「笑い」文化の医学的効果と「ヘルスケアサービス」を組み合わせた 新たなサービス展開:京橋花月、天満天神繁昌亭など
 - ③図書(医学関連等)の閲覧サービスや資格(介護福祉等)取得支援などの「教育サービス」と「ヘルスケアサービス」を組み合わせた新たなサービス展開
 - ④スポーツ(ランニング)やジムなどの「健康増進サービス」と予防医学セミナーなどの「ヘルスケアサービス」をセットにしたサービスの提供

2. 地域のポテンシャルを活かしたまちづくり

治療目的の医療を中心に、予防医学や健康増進という考え方を取り入れ、歴史・文化・観光等、周辺地域のポテンシャルをうまく活用したまちづくりを進める。

【医療施設周辺にあるべき機能】

宿泊機能	国内外から訪れる患者及び研究者向けのホテルや滞在施設
医療研究機能	世界でも最先端の治療法を研究する研究施設
エンターテインメント機能	大阪が誇る「笑い」の医学的効果を活かし、健康増進に貢献する漫才、落語施設
教育機能	各種検診(人間ドック、健康診断)の合間で、自由に図書を閲覧したり、医療に関する資格取得を支援する施設
健康増進機能	大阪城周辺でスポーツを楽しむ府民をサポートしたり、健康増進に関するセミナー受講ができる施設

